



園のたより

<http://keiaigakuen.com>

敬愛シンフォニー保育園

令和 7 年 4 月 1 日

園のたよりは、下記の URL からご覧いただけます

<https://www.keiaigakuen.com/hoikuen/symphony/>

♪ チューリップ ♪

さいた さいた

チューリップのはなが
ならんだ ならんだ

あか しろ きいろ

どのはなみても きれいだな



ご入園・ご進級おめでとうございます。園庭では桜の花が咲き、色とりどりの春の花々が愛らしく咲いています。21名の新しいお友達をお迎えし、100名で新しい1年が始まりました。今年度も地域に根差し、敬愛学園の理念にかかげております「人を敬い すべてを愛しむ」敬愛の精神に基づき、児童の現在と未来のしあわせのために、一人ひとりを尊重した最善の保育を実践してまいります。

お子さまの個性が輝き、「保育園大好き！お友達大好き！先生大好き！」の笑顔で、元気いっぱいにご過ごせるよう、愛情あふれる環境の中で一人ひとりを大切に保育を、職員一同誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い致します。

【園からのお知らせについて】

保護者の皆様より「メッセージやお便り、ドキュメンテーションの確認に、アプリやクラウド等の複数を見るのが大変」と第三者評価アンケートよりご意見をいただきました。そこで、今年度より携帯アプリ「さくら days」にて、「園のたより」「各クラスのカリキュラム」「予定献立表」や「ドキュメンテーション」を一元管理し、簡単に確認できるようになります！なお、引き続きお知らせ等を紙面でご希望の方は、担任までお申し出ください。

配信致しました「ドキュメンテーション」はアプリ[新着情報]または右下[その他]をタップし[今日の育ち]よりご覧ください。

《毎月の予定について》

携帯アプリ「さくら days」の行事カレンダーで日程等ご確認ください。

各クラス行事の詳細は、各クラスだより特別号で詳細をお伝え致します。

《ご入園・ご進級のプレゼント》

お子さまのご入園・ご進級をお祝いし敬愛学園より「カステラ」をお渡し致します。

《健康診断》

乳児健診は、毎月 0 歳児のお子さまを対象に、嘱託医をお呼びして行います。当園の嘱託医は、**加藤醫院 加藤直樹医師**となっております。

※定期健康診断は全園児対象で

年 2 回(5月・10月)施致します。

《身体測定》

身体測定は、毎月 1 回全園児対象に行います。実施結果は保護者連携アプリ「さくら days」にてご確認ください。

《個人面談・育児相談について》

個人面談をご希望の保護者の方は、いつでもお申し出ください。

また、日常的に子育てに関する相談も承っております。保育士、看護師、栄養士がお話をお伺い致しますので、いつでもお声がけください。

《避難訓練について》

『保育園安全計画』をもとに、地震や火災、大規模災害を想定して毎月1回訓練を行います。お子さまの安全を守り、お子さま自身がどのような行動をとればよいのかを身につけるために、繰り返し行ってまいります。

また、保育園安全計画は1階ハッピー組窓(登降園登録用タブレット後ろ)、エントランス掲示板「シンフォニーキャンバス」に掲示しておりますので、ご確認ください。

《お誕生会》

誕生会は毎月、その月にお生まれのお子さまを各クラスでお祝い致します。

《午睡用布団のカバー掛けについて》

月に1度の布団カバー掛けに、ご協力をお願い致します。0歳児・1歳児は1階ルル、2歳児・3歳児は2階こもれび、4歳児は3階シャイニーに布団を準備致します。

《貸し出し用の着替えについて》

ご自宅からご用意いただいたお子さまの着替えが足りなくなった場合は、保育園よりお貸ししています。洗濯をして返却をお願い致します。

また、下着のパンツは園から新品の物をお渡ししていますので、同じサイズの物をご購入いただきお返してください。日頃より、少し多めに着替えをご用意いただくとお子さまの安心にもつながりますのでよろしくお願い致します。

《入園・進級おめでとう会》

入園・進級をお祝いして「入園・進級おめでとうランチ」を予定しています。

お子さまにとって保育園でのお食事が楽しみなひと時になりますように。

【メニュー】

- *ケチャップライス
- *フラワースープ
- *鶏のから揚げ(添え：ブロッコリー)
- *スプリングサラダ

※1階ルルに『日々のお食事』の実物展示をしています。お迎えの際にご覧ください。

《敬愛学園ホームページについて》

敬愛シンフォニー保育園のホームページを開いていただき「園のたより」のバナーをクリックすると、毎月の「園のたより」をご覧ください。

また、敬愛学園のトップページから「月刊コラム」のページに入ってくださいと、学園総合長や各園園長によりさまざまなテーマのコラムも掲載しておりますので、ご覧ください。

なお、感染症病状確認書(登園許可書)は、敬愛学園ホームページの「敬愛学園のこども園・保育園」トップページよりダウンロードすることができます。病状別に必要な書類をご確認いただき、ご利用ください。

URL…<https://www.keiaigakuen.com/hoikuen/>

●SIDSの予防

乳幼児突然死症候群(SIDS)は、乳幼児の死亡原因として第3位となっています。悲しい事故を防ぐため、敬愛学園では睡眠時の呼吸や顔色、体勢がうつぶせ寝になっていないかなど、予防のため0歳児は5分毎、1歳児・2歳児は10分毎に確認し、睡眠時の記録をつけています。その他に0歳児では、寝返り等を記録するセンサー「ルクミー」を導入しています。また幼児組のお子さまも、午睡時のお部屋は顔色や呼吸の確認ができる明るさにして、環境を整え、適宜確認をしています。ご家庭でもうつぶせ寝をさけ、仰向けに寝るようになる等して予防してまいりましょう。

●AEDを設置しています

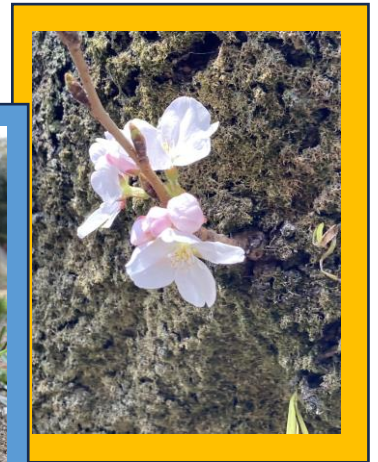
自動体外式除細動器(AED)をウェルカムステーション(事務室)に設置しています。全職員が救命救急講習を受講し、安心安全な保育に努めてまいります。

けいあい『SUKU☆SUKU』サロンだより 8号

令和7年(2025)3月

*****☆話題*****『春の'ルレー』***☆*****

春の草花の'ルレーです。
ウグイスのスタートの合図で
はじまりました。
ウメ・スイセン・モモ・サクラ…
カタクリの走りもいいです。
ユキヤナギも見えてきました。
すべてベストランナー…
目の前を サーツと通りぬけて
いきます。



なにか お子さまたちの成長と
重なって感じます

春です。 草花の生命力が加速しています。

☆*^_*☆☆=))))))

4月の

『SUKU☆SUKU』サロンは、4月19日(土)10:00～11:00 敬愛こども園＊面談室

『SUKU☆SUKU』セミナーは、4月19日(土)14:00～16:00 敬愛フレンド保育園＊IB(アイビー)ホール

対象の方は、原則・敬愛学園各園の保護者の方です。お子様のお預かりは、所属(在籍)の各園にお申し込みください。また、サロンは個別の相談がある場合は1時間となります。 お問い合わせは

敬愛こども園:042-663-4017(星野) tomoka-hoshino@keiaigakuen.com

敬愛フレンド保育園:042-678-2921(石井) ayako-ishii@keiaigakuen.com

※ 本年度は、隔月に『SUKU☆SUKU』サロン・とセミナーを実施する予定です。

*****☆☆☆☆『詩ごころ』を楽しもう***☆*****

○ お子さまの 一つ一つの紡ぎだす言葉は ほんものの「事(こと)」の「端(は)」です。

☆ ピカチューも シマエナガくんも だいすきだ

カナヘビちょっと えんりよします

☆かわいいのに!!(^0_0^)

*****☆☆☆☆ サロンの星くず ***☆***** ☆*** 自然とふれる

0歳のお子さまたちは、虫も動物も怖がりません。
すべて経験の中で、学習していくものです。

「ぼくの 5ねんかんの けいけんでは…」と、
前置きして、こわいものの話をしてくれました。

その一つが「カナヘビは ちょっと えんりよ…」
とのことでした。

カナヘビの好きな子は、たくさんいるのですが…。



… アミューズメントパークや公園や動物園でも、人工物ではない、いろいろな生き物にふれ合う機会があります。でも、身近な自然の中で生き物とふれあうこと、そこに大事な『生きる力』と本物の『生きるよろこび』があることも忘れてはいけないと思います。… お金のかからない経験こそ本物かも

*****☆☆☆☆* 本とあそぶ ***☆☆*****☆☆*****

よい本の判断は、まずご自分(大人)が、本当に楽しめるかどうかです。その姿が、子どもたちの学びになります。「本とあそぶ」 はじめてみませんか …

☆ 『セロひきのゴーシュ』 宮沢賢治 作 茂田井武 画

(福音館書店 1966 年 4 月 初版発行)

宮沢賢治の有名な童話です。それに茂田井武が絵を添えました。この二人には共通点があります。それは、二人とも先生につかなかったこと。自分の感性だけで、独自の世界を創る芸術家です。それだけに、二人の言葉と絵がすばらしくシンクロしています。また、賢治の最後の童話であること、茂田井の最後の作品であることも気になります。

賢治の作品を読むと、何か「つじつまの合わない」感覚の世界に引き込まれます。そこが魅力なのですが…



この「セロひきのゴーシュ」もそうです。

なぜ、ねこはゴーシュのセロを聞かないと眠れないのでしょうか。なぜ、かっこうはゴーシュに音楽をおそわりたいのでしょうか。なぜ、たぬきの子はゴーシュに小太鼓のたたき方を習いにきたのでしょうか。

とても分かりやすい話なのですが、何かふつうの感覚と異なるゴーシュのかかわりに不思議さを感じます。それに、動物たちとのかかわり方も残酷な感じがします。

でも「ゴーシュさんはとてもいい人でこわくない」のです。物語ではこの後も様々な動物との出会いが続きますが、ゴーシュの心象風景がリアルに描かれます。そして、最後にゴーシュは聴衆や楽長・仲間を魅了するセロ演奏をしてしまうのです。なぜ、セロが上達したのでしょうか。冷静に考えると、解るようで解りません。

この物語を単純に努力は報われるとか、継続が大切ということを伝えたかったと捉える人もいますが、そうではないと思います。先に述べた「つじつまの合わない」のです。

何でそうなるのかよく解らない世界、人間の内面の世界です。理性を超えた感性の世界です。ちょうど、夢の中でみているありえない物語のようです。だけれど、とてもリアルでその人の心を大きく揺さぶるのです。

この本は、丁寧にゆっくり読み聞かせをすると、子どもの心をつよく引き付ける作品です。それは、自分の気のつかない自分に気づかせてくれる本だからではないでしょうか。

読むたびに新しい捉え方ができる本です。大人の方にもお薦めしたい本です。

文責：加藤康紀